

年末年始の収集日程

	年 末	年 始	申 込 み
戸別収集	12月30日(金)まで		
粗大ごみ	12月28日(水)まで 受付は21日(水)まで ※持込みは27日(火)まで	平成29年 1月4日(水) から	リサイクルセンター ☎552-1621 または ☎551-9150
し尿 汲み取り	12月28日(水)まで 受付は21日(水)まで		環境課ごみ対策係 ☎551-1731 (直通)
リサイクル 品の販売	12月28日(水)まで (午前9時～午後4時)		1月8日(日) (午前9時～午後4時)

※年始の収集初日はごみの量が大変多く、一日では収集できない場合があります。
何日かに分けて出していただくようご協力をお願いします。



清掃だより
124

平成28年12月15日
福生市
生活環境部
環境課ごみ対策係

ご意見・問合せ
☎042-551-1731



▶ 12月29日(木)、12月30日(金)は 特別収集日です ◀

年末最後の2日間（12月29日(木)、30日(金)）は特別収集日です。通常の収集品目とは異なる場合がありますので、ごみ・リサイクルカレンダーをご確認の上、適切な排出をお願いします。

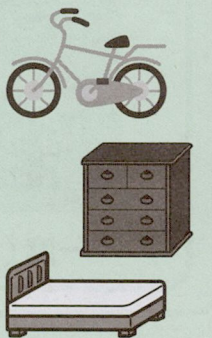
	12月29日(木)	12月30日(金)
西 地 区	新聞、雑誌・雑紙	燃やせるごみ
東 地 区	容器包装プラスチック、ダンボール	
南 地 区	プラスチックボトル、ペットボトル、硬質プラスチック	
中央地区	容器包装プラスチック、ビン	

粗大ごみのお申込みはお早めに!! 《粗大ごみはリサイクルセンターへ電話してください》

年末は、大掃除などで出た粗大ごみのお申込みが集中します。ご希望の日に収集できない場合がありますので、お申込みはお早めをお願いします。

お申込み後の品目の追加が増えていきます。電話が掛かりにくくなりますので、捨てるものは取りまとめてお申込みください。なお、電話番号はお間違えのないようにお願いします。

※石油ストーブ、石油ファンヒーター、ガスストーブ、ガスファンヒーターは、大きさに関らず粗大ごみとして収集します。ご注意ください。



◆申込受付 12月21日(水)まで ◆年内回収 12月28日(水)まで
☎552-1621 または 551-9150 ※電話番号は、お掛け間違いのないようにお願いします。

危険防止のためにも分別排出をお願いします。

電池やバッテリーは、リサイクルセンターでの選別作業中に発火するおそれがあります。

特に小型家電を出す際には、電池やバッテリーが入ったまま捨てられてしまうことが多くありますので、必ず取り除いて排出してください。危険防止のためにも分別排出をお願いします。

排出方法

小 型 家 電：小型家電の日に透明又は半透明の中身が見える袋に入れて排出してください。

乾 電 池：有害ごみの日に透明又は半透明の中身が見える袋に入れて排出してください。

充電式電池：（ニカド電池・ニッケル水素電池・リチウムイオン電池）は市では収集できません。使用済みの充電式電池は、リサイクル協力店へお持込ください。

充電式電池のリサイクル協力店

店舗名称	住所	電話番号
タマラジオ	福生960-8	☎551-2782
コジマ×ビックカメラ 福生店	本町36-1	☎539-3711

ごみの散乱防止と3R（リデュース=発生抑制、リユース=再使用、リサイクル=再生利用）を進めるための ポスター・標語の入選作品が決定！

市内の小学生の皆さんから、ごみに関するポスターと標語が寄せられました。福生市廃棄物減量等推進員の厳正な選考の結果、以下のみなさんが入選しました。

一席の作品については、関東甲信越静7都県の「関東甲信越静環境活動推進連絡協議会」主催による、平成28年度ポスター・標語コンテストに推薦しました。【敬称略】

入選された作品は、ごみ・リサイクルカレンダーへの掲載等ごみ減量のPRに使用致します。

《ポスター部門》

小学生（低学年）の部

一席（六小1年）
石井 萌音



《標語部門》

小学生（低学年）の部

一席（六小1年）石井 萌音
「ごみは ぶんべつ しょうね」

小学生（高学年）の部

一席（五小4年）渋谷 怜央
「ゴミだけど ぶんべつすれば しげんゴミ」

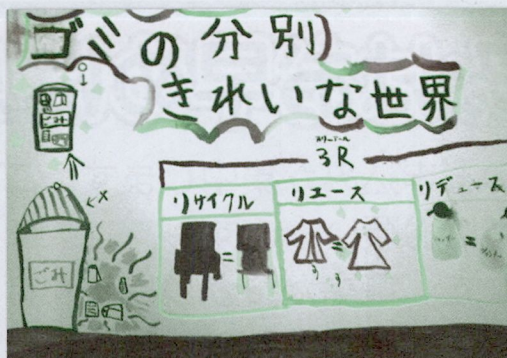
二席（五小4年）齊藤 志侑
「そのゴミも ちゃんと分ければ しげんだよ」

三席（五小4年）伊藤 千夏
「リサイクル しなきゃだめだよ 未来のために」

小学生（高学年）の部



一席（一小4年）和田 章太郎



二席（一小4年）山田 怜奈



三席（一小4年）沼田 美悠

食品ロスを減らそう！

日本では、年間約632万トンの食品ロス（まだ食べられる食品が廃棄されること）が発生しています。これは、東京都民1,300万人すべての人が、1年間に食べる食品の量に相当します。

食品ロスの約半数は家庭で発生しているため、家庭でできる身近な工夫で食品ロスを減らしましょう。

食品ロスを減らす工夫

- ① 買い物前に冷蔵庫などの在庫確認をして、買いすぎないようにする。
- ② 長ネギの緑の部分をかきとって餃子の具にするなど、余った食材を他の料理に利用し、使い切る、食べきるようにする。
- ③ すぐ使う食材は、買い物のときに、手前に陳列されているものから選ぶ。

みなさんのご理解とご協力をお願いします。

